

第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

提出日	R5.6.21
担当	課名 生涯学習課 グループ名 生涯学習グループ 記入者名

1 事業概要

(1)事業名	文化財保護活用対策事業費	(2)事業種別 (新規・継続)	継続	(3)事業性格 (政策・一般)	一般事業
(4)第5次総振での位置づけ	(5)予算・財源等の別				
①基本目標	豊かな心をはぐくむまち(教育・文化の振興)	①会計区分	一般会計		
②大項目	文化	②財源区分	町単独		
③中項目	文化財の保存と活用	③予算科目	款	項	目
④施策	文化財の保存と活用	④予算事業名	文化財保護活用対策事業費		
⑤施策コード	2・3・2・2	掲載ページ	36	ページ	
(6)実施根拠	(7)総合戦略				
①事務分類(自治・受託)	自治事務	①総合戦略 (該当事業名)	無		
②根拠法令	文化財保護法	③事業期間	開始	不明	年
③事業期間	開始	不明	年	月から	終了
					未定
					年
					月まで

2 事業の目的・対象及び内容

(1)目的(何のために行うか)	(3)手段(内容・どのような取り組みか)
町の歴史や文化を正しく理解するうえで欠くことのできない文化財の保護を図るとともに、その活用を促進し住民の文化的意識向上に資する。	<ul style="list-style-type: none"> 文化財保護委員会による文化財指定等に関する審議 文化財の指定による保護 指定文化財の維持、管理 文化財の保存、活用事業の推進 文化財保護のための施設管理及び各種事業
(2)対象(誰に対して、何に対して行うか)	(4)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)
町民全般。 文化財全般。 指定文化財。	文化財の保存・活用を通し、将来に貴重な文化財を伝えるとともに、住民の文化活動及び地域の個性を活かしたまちづくりに資することができる。
対象数	指定文化財 75
単位	件

(5)事業を取り巻く環境(社会環境、町民ニーズ等)、団体、議会等からの要望など

文化財は、わが国の歴史や文化の理解に欠くことのできない貴重な資産であるとともに、現在及び将来の社会の発展向上のためになくてはならないものであり、適切に保存し、確実に次世代に継承していくことが求められている。また、近年では文化財の活用に関する要望もある。

(6)SDGsへの貢献



3 事業のコスト(実績・予算・決算) (単位:千円)

項目	(1)事業(内容)名称					
	文化財保護活用対策事業費					
	決算・予算年度	R元年度決算	R2年度決算	R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算
(2)事業費内訳	賃金・会計年度任用職員報酬	315	303	325	226	249
	使用料及び賃借料	1,179	129	8	8	8
	委託料	834	859	865	2,720	1,366
	負担金補助及び交付金	760	759	1,185	980	1,021
	需用費	224	1,090	260	2,020	1,208
	その他	553	631	737	1,157	615
	直接事業費合計	3,865	3,771	3,380	7,111	4,467
(3)財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	215	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	3,865	3,771	3,380	6,896	4,467
	合計	3,865	3,771	3,380	7,111	4,467
(4)補助金名						
(5)人件費	投入職員数	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
	年間人件費	2,315	2,292	2,288	2,263	2,309
(6)総事業費	サービス量(件)	72	75	75	75	75
	サービス単価	85.8	80.8	75.6	125.0	90.3
	(単位)	千円/指定文化財1件あたり				

4 指標の検証(活動指標・成果指標)			文化財保護活用対策事業費				
指標名			単位	R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算積算	
(1)活動指標(実施した事業の量:回数、延長、面積等)							
指標名	指定文化財維持管理下草伐採等委託・実施箇所	目標値	箇所	10	10	10	
		実績値	箇所	10	10		
		達成率	%	100.0	100.0		
	指定文化財維持管理費等補助件数	目標値	件	51	51	51	
		実績値	件	49	51		
		達成率	%	96.1	100.0		
(2)成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度:人数、世帯数、件数、団体数、コスト指標等)							
指標名	文化財指定件数 (総振目標指標p37) R7年度目標値 80件		目標値	件	80	80	80
			実績値	件	75	75	
			達成率	%	93.8	93.8	
	目標値						
	実績値						
達成率							
(3)その他指標に現れない成果							
町民の文化財保護意識の醸成。普及啓発による史跡等の文化財見学者の増加による来町者数の増加。							
5 事業評価							
(1)項目別評価							
評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。		
必要性	事業の必要性	1	1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	1	1 事業の実施が関係法令等で定められている 2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である 3 その他()		
妥当性	実施主体の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業の主体が関係法令等で定められている 2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である 3 その他()		
	手段の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	3	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している 2 他に有効な代替手段が見当たらない 3 その他(文化財保護委員会、文化財所有者、管理団体との連携等)		
効率性	コスト効率性 人員の効率性	2	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	3	1 サービス単価は減少している 2 サービス単価を維持している 3 その他(単年度事業を複数実施したため、一時的にサービス単価が増加)		
公平性	受益者の偏り	1	1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	1	1 公平に分配されている 2 おおむね公平に分配されている 3 その他()		
有効性	成果の向上	1	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	3	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている 2 成果指標は、前年度より向上している 3 その他(補助金を活用し、史跡の整備や施設の環境改善をすることができた。)		
進捗度	事業の進捗	2	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	2	1 年度内に予定した事業は完了した 2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した 3 その他()		
(2)総合評価(上記結果を踏まえて、問題点や課題を記載してください。)							
概ね順調。資料は分散保管されている状況が続いているため、資料保存・展示施設の整備が課題。また、文化財保存活用の担い手づくりや、普及啓発のため資料のデジタル化作業の継続実施が必要である。							
6 事業の方向性の判断			1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合				
評価主体	(1)一次評価 (担当課長)		(2)二次評価 (政策推進課長)		(3)最終評価 (町長)		
評価	2						
説明	保存施設の分散化、老朽化への対応を視野に継続して事業を実施。						